

研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 秋山博子

令和 1 年 8 月 22 日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	自治政策講座 税金の使い道を決める～予算と決算：東京
研修の目的	地方議員の役割とは何か、予算決算の審議を中心に議会のあり方を学ぶ (主催/自治体議会政策学会 講師/自治体議会政策学会 竹下譲氏 他)

所 感

研修プログラムは2日間設定であったが、8/21「(1) 予算や議案を審議する議会のあり方」「(2) 人口減少時代の総合計画・地方版総合戦略・コンパクトシティ政策」は後日資料受講、8/22「(3) 予算書・決算書の読み方使い方」「(4) 少子高齢化・人口減少社会の行政サービス～高齢者福祉から考える」は当日現地受講とした。第1講義ではイギリスの議会政治に詳しい講師から「議会は行政の専門家ではなく住民の代表なのに住民の立場に立った審議が出来ているだろうか?」と、形式的なものではなく全議員が論争できるような工夫が求められると問題提起があり、第2講義の三鷹市担当部長からは、人口ビジョンに基づいた計画づくり、コンパクトシティ化を進めるには広域レベルの都市圏総合戦略が必要であるとして国内外の事例が紹介された。第3講義では予算書決算書を読むポイントともに、財政規律を考慮しつつ住民の幸福度を高めるために議員に課された課題はますます大きいことが強調された。第4講義は介護報酬がスタート時に比べて大幅にダウンしており、人材がこれからの大きなテーマであること、また子どもを産みたいときに産み、育てられる環境を整備することの重要性などを指摘している。いずれの講義も中身が濃く引き続き学んで政策提案に繋げたい。

今後の参考となる事項

(1) 議会は住民の意見をまとめ地域の政策を定めるという立法機関としての議会の役割を再認識すること。

(2) 都市の再生をかけてそれぞれの自治体が「地方創生」の名のもと、住民獲得や税収拡大を目指して部分最適の政策にはしり、圏域内で人口と税収を奪い合うという現状が、結局は無秩序な開発が進み、非効率な状態に陥ってしまう。都市圏全体の魅力と持続可能性の低下につながるという指摘。

(3) 予算では地方財政計画と自治体予算を比較して読むこと。決算では財政分析でみる視点を持ち、バランスシートの変化も注視すること。

(4) 地域の中で何が起きているのかちゃんと見て制度を作るのが市町村議員の仕事。

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。